

# 令和2年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（夏季）入学試験

### 入学試験問題

#### 文化人類学

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

．つぎの人名から4人を選び、それぞれ、主要著作に言及しつつ、その研究について概説しなさい。解答の前に記号(大文字)を記すこと。(各3行程度)(各10点、合計40点)

- (A) クリフォード・ギアツ(Clifford Geertz)
- (B) 柳田國男(やなぎた くにお)
- (C) エドワード・エヴァン・エヴァンズ=プリチャード(Edward Evan Evans-Prichard)
- (D) クロード・レヴィ=ストロース(Claude Lévi-Strauss)
- (E) マックス・ウェーバー(Max Weber)
- (F) マーガレット・ミード(Margaret Mead)
- (G) エミール・デュルケーム(Emile Durkheim)
- (H) マリリン・ストラザーン(Marilyn Strathern)

．つぎの項目のなかから4つを選び、それぞれ文化人類学における意味を考慮に入れ、簡単に説明しなさい。解答の前に記号(小文字)を記すこと。(各3行程度)(各10点、合計40点)

- (a) エスニシティ(ethnicity)
- (b) 音素(phoneme)
- (c) 分類(classification)
- (d) 本質主義(essentialism)
- (e) 母系社会(matrilineal society)
- (f) 記号論(semiotics)
- (g) 憑依(possession)
- (h) 状況局面(conjuncture)

米国の歴史家G・ストックキング(George Stocking, Jr.)は、フランツ・ボアズ(Franz Boas)の業績を評し、次のように述べている。「ドイツに生まれ、祖国の知的伝統に深く根ざしてはいるものの、フランツ・ボアズは他の誰よりも米国文化人類学の特徴、いわば『ナショナル・キャラクター(national character)』を規定した」と。ここでストックキングは何を主張しているのか。米国人類学の歴史を踏まえたうえで、説明しなさい(10行程度、40点)。

．朝日新聞「折々のことば」欄において、哲学者の鷲田清一は「他の人々の生を私たちは私たち自身が磨いたレンズで見ているし、彼らは私たちの生を彼らのレンズで見ている」という、ある人類学者のことばを紹介している。この文章に説明を加えなさい(10行程度)(40点)。

．文化人類学は現代社会にどのようなかたちで貢献できると考えますか。具体的事例を示し、あなたの考えを述べなさい。(10行程度)(40点)